

## 2023 Round.2

# FUJI

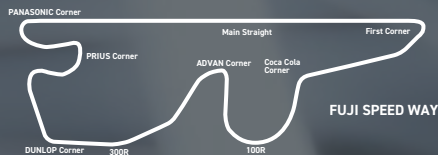
## 第2戦 富士スピードウェイ

FUJI SPEEDWAY (JPN)

May 3 / WED - May 4 / THU

Yogibo NSX GT3 [GT300 class]

Driver : Yugo Iwasawa / Reimei Ito



## 走り出しからペースに苦しむ 15位と悔しいレースのなか収穫も得る

### 公式練習から思わぬつまずき ストレートで伸び悩む

4月に行われた第1戦岡山では変わりゆく天候のなか、岩澤優吾と伊東黎明のふたりのルーキーが安定した走りとスピードをみせ、4位に食い込む最高の開幕スタートを切ったYogibo Racing。迎える第2戦は、富士スピードウェイでの450kmレースだ。Yogibo NSX GT3にとっては決して相性が悪くないコース。開幕戦の入賞で24kgのサクセスウェイトを積むが、そこまで大きなハンデではない。チームは連続入賞の期待を込めて、5月3日（水・祝）午前9時05分からの公式練習に臨んだ。

富士山がクッキリと顔を出し、前夜から詰めかけた多くのファンがスタンドを埋めるなかで走行を開始したYogibo NSX GT3は、赤旗中断を挟みながら伊東が15周を走り、岩澤に交代し19周を走り公式練習を終えた。岩澤が記録した1分37秒694がベストタイムとなったが、順位はなんと23番手。好調だった前戦が嘘のような順位となった。

「今回、参加条件の変更で高回転のブーストが絞られていて、思っていたよりもライバルよりストレートが伸びない印象を受けています」と伊東。

「ふたりともドライで走る富士が初めてなので、セットアップ等も合わせながら詰めていますが、公式練習のときはあまり良くなかったです」と伊東は振り返った。その後、午後の予選に向けフルコースイエローの訓練やサーキットサファリの時間も使い、調整を進めていった。

### 状況打開を狙うも 予選は23番手と後方に

伊東も岩澤も同様に、いまひとつのフィーリングだったYogibo NSX GT3だが、ふたりのドライバーとも自身のドライビングも含めてアジャスト。もちろんチームも、午前の公式練習やフルコースイエロー訓練で得られたフィードバックをもとに、Yogibo NSX GT3のセットアップを進めていった。

迎えた午後3時15分からの公式予選。Yogibo NSX GT3はQ1のB組から臨むことになったが、今回のB

## Report of Saturday

土曜日公式練習 / 公式予選



組は強豪チームが揃っており、突破は至難の業だと感じさせた。アタッカーを務めた伊東は午後3時33分のコースオープン後、4周目に1分36秒743を記録するが、結果は12番手。Q1突破を果たすことはできず。予選総合順位は23番手と、後方からのスタートを強いられることになってしまった。

「チームの皆さんが考えてくれたおかげで、クルマは良い方向にいていたのですが、足りなかったです」と伊東。とはいえ、レースは450kmの長丁場で、反撃のチャンスはある。チームは翌日の決勝日に気持ちを切り替えていった。





## Report of Sunday

### 日曜 / 決勝レース

後半を岩澤に託すことになった。

代わった岩澤も、週末から感じ続けていたリヤのグリップ不足を訴えた。前日の走り出しに比べれば状況は好転していたが、やはりやや苦しい状況には変わりはない。ただそんななかでもドライビングでアジャストしながら追いつけていった。

レースは73周を終えGT300クラスの全車がピットインを行ったが、この時点でYogibo NSX GT3の順位は16番手。78周目には#11 GT-Rのタイヤトラブルでひとつ順位を上げ15番手につけながら、前を走る#50 RC Fを追っていく。

### 悔しい結果も さまざまな経験を得る

ただその後、SUPER GTではつきものと言えるようなアクシデントやセーフティカーの波乱もなく、緊迫感があるレースは続いたものの、Yogibo NSX GT3にとってはなかなか逆転のチャンスは訪れず、単独走行の末に15位でチェッカーを受けることになった。予選23番手からの追いつけという意味ではしっかりジャンプアップすることはできたが、第1戦の4位という結果からすると悔しいものと言えた。

とはいえ、苦しい中でもチーム、そして伊東黎明と岩澤優吾のふたりは、450kmという長丁場のなかでさまざまな経験を得ることができた。

特に今シーズンのSUPER GTは開幕前になかなか思うようにドライコンディションのなかで走行する機会がなかったことから、ふたりは多くの収穫を得ることになった。

これを活かすのは、屈指のドライバーズサーキットである鈴鹿で行われる第3戦。Yogibo Racingはふたたび入賞を目指して戦っていく。

#### — Race Results —

予選 23番手  
決勝 15位

#### — Rounds Schedule —

6/03-04 Round3 SUZUKA  
8/05-06 Round4 FUJI

### 序盤からペースは上がらず 我慢のレースに

前日に続き晴天に恵まれ、4万8600人という大観衆が訪れた5月4日(木・祝)の決勝日。午後1時30分の決勝レースに向け、Yogibo NSX GT3のステアリングを握ったのは伊東だ。オープニングラップではGT300クラス車両同士のアクシデントなども起きたが、伊東は混乱をくぐり抜け#244 GR Supraや#360 GT-Rなど中盤の争いを展開しながら前に食らいついていく。

今回のレースでは、給油をともなう2回のピットストップが義務づけられており、タイヤや燃料が保つライバルたちは、積極的にピットインを行いアンダーカットを狙う作戦を採っていく。Yogibo NSX GT3にとってはなかなか難しい作戦ではあるものの、他車のピットインにともない、Yogibo NSX GT3は少しずつポジションを上げていくことになった。



第1戦岡山は荒れに荒れた展開だったことから、チームは柔軟に戦略を採るべく対応していくが、スタート直後をのぞきアクシデントが起きない展開が続いていった。そんななか、タイヤが苦しい状況を感じていたチームは17周を終え伊東をまずピットに呼び戻し、給油とタイヤ交換を実施していく。これで一時は最後尾近くまで落ちることになったが、スタート時とは異なる硬めのタイヤを装着。ふたたび追



上げを目指していった。

タイヤ交換を行った後は、伊東のフィーリングはスタート直後よりも良いものだったが、ただ、今回のYogibo NSX GT3はいかんせん絶対的なスピードに欠けていた。#88 ランボルギーニや#96 RC Fなどにかわされるなど思うように順位を上げることができなかった。「苦しい展開」と伊東が振り返るとおり、我慢のレースが続いたが、8番手までポジションを上げた後、54周までを戦い抜きピットイン。レース



REALLIMIT



META ALL-STARS



I&B



YaMaDal



Hello Web3.0!

SYOHBI

心忘却

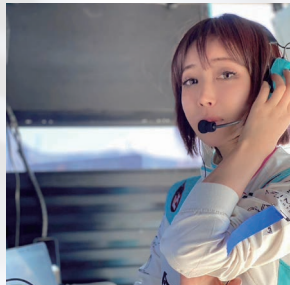
SHOWA 50 YEARS

新宅不動産管理



## Race Comment レースコメント

NEXT Race is  
SUZUKA CIRCUIT



課題が多いレースに  
次戦に向け改善を

芳賀美里 監督  
MISATO HAGA

@misato\_SUPERGT

公式練習からいろんな課題があり、目標としていた公式予選 Q1 を突破することができず 23 番手からのスタートとなり後方から追いつけるレースになりました。結果は 15 位とポイントを獲得できず残念な結果となってしまいました。限られた時間と状況の中での勝負ですので、持ち込みのセットアップの大切さも改めて痛感しましたし、いろいろな課題を残したレースになりました。次戦に向けて改善しなければならないと思っています。まずは走り出しの状態を良くしなければなりません……。Q1 を突破していくのも勝負していくには必要になります。今季は初めてのパッケージということもありますが今チームが持っている状況から最大の結果を導いていけるよう事前に準備をし、今後のレースに臨んでいきたいと思っています。



タイヤの難しさを  
痛感したレースでした

伊東黎明 選手  
REIMEI ITO

@reimei\_ito\_

決勝のスタートは予選で履いた柔らかめのタイヤを履いていたのですが、少し苦しくて抜かれてしまうシーンもありました。そのため早めにピットインを行い硬めのタイヤを履いたのですが、その後はペースも良かったので、ライバルがピットインするときに順位を上げることができました。このタイヤはタイムの落ち幅が悪くはなかったですが、そもそも持ち込んだタイヤ自体が路面にマッチしていませんでした。セットアップが良い方向にいていましたが、補いきれない部分がありましたね。タイヤの難しさを痛感したレースになりました。今回ドライで初めて富士を走りましたが、鈴鹿はそもそもこのクルマで走っていないので、見極める力が問われると思います。しっかり事前にミーティングをしてイメージしてから鈴鹿に臨みたいですね。



修正しきれないレースに  
ドライの走り方は収穫

岩澤優吾 選手  
YUGO IWASAWA

@yugoiwasawa

今回はレースウィークに入ってからずっとリヤのグリップ不足に悩まされていて、少しずつ良くなってきてはいましたが、決勝レースまでに完全に修正するまでには至りませんでした。レースを通じてリヤが苦しいバランスでしたね。前戦の岡山は雨のレースでしたが、今回はドライで、タイヤが苦しくなったときにドライビングでアジャストするかを学ぶことができました。結果的にポイントは獲れなかったのが痛かったのですが、ドライの走らせ方を学ぶことができたのは良かったです。次戦は鈴鹿サーキットですが、未知な部分が多いです。シミュレーターなど使えるものはしっかり使って準備していきたいですし、タイヤやセットアップなどいろいろなものを準備し、良い雰囲気でもレースウィークに入れるようにしたいですね。

## Information

### STAR WARS DAY CAMPAIGNを サーキットでもアピール

5月4日の『スター・ウォーズの日』に合わせて、Yogibo は世界中のファンが、スター・ウォーズの文化を祝い、映画を楽しむこの日を称え、『STAR WARS DAY CAMPAIGN(スター・ウォーズ デイ キャンペーン)』を開催しました。

Yogibo Racing も、このキャンペーン開催に合わせてパドックに『STAR WARS™ Collection』を展

示。多くのファンから注目を集めたほか、ドライパーアピランスでも芳賀美里監督、ふたりのドライバーがコレクションをアピールしました。

また Twitter (@YogiboRacing) では Yogibo Max Racing Edition が当たるフォロー&リツイートキャンペーンを開催。こちらも非常に多数のご応募をいただきました。



REALLIMIT



META ALL-STARS



I&B



YaMaDal



SYOHBI



新宅不動産管理

